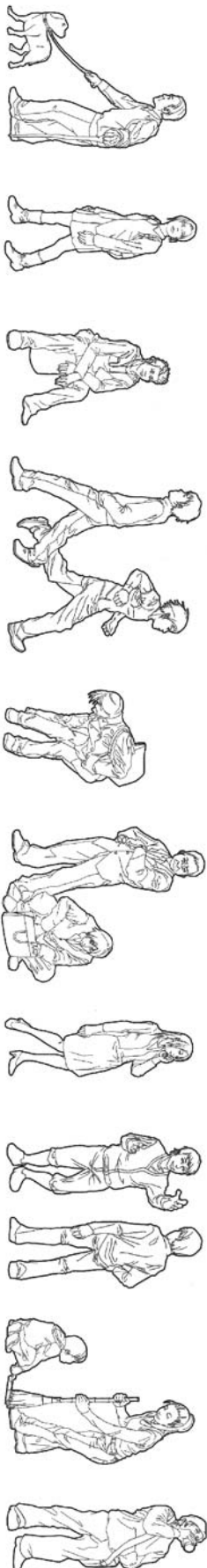


- 日本バーチャルリアリティ学会
- サイバースペースと仮想都市研究会



コンピュータの画面に向かってキーボードを叩くコンピュータは、コンピュータの概念の一部となり、人を囲み、人を観察し、協調して人をサポートするような情報環境へとパラダイムシフトが起こりつつあります。そのような今、人をどこまで測ることができるかを、いかに洞察するかが、将来のサイバースペースのあり方を見定める上で重要になります。本年度のサイバースペースと仮想都市シンポジウムでは、「人をはかる」をテーマとし、人の形、動き、感情等、人の色々な属性、状態をはかることに取り組まれている研究者の皆様を、バイオ分野から応用分野まで多様な視点で講師にお招きし、将来の情報社会を変えるであろう「人をはかる」技術についてご講演いただきます。これをもとに、将来のサイバースペースのあり方について考えます。

●アドバンスプログラム

テーマ： 人を測る

10:00～10:10 開会の辞、サイバースペース研究賞授賞式

第一部

10:10～11:00 協調における予期およびエコロジーの二重性に関する考察

○葛岡 英明（筑波大学）・サイバースペース研究賞受賞記念講演

11:00～11:50 身体機能を拡張するロボットスーツHAL ○山海 嘉之（筑波大学）

第二部

13:10～14:00 人の機能を測定する ○富田 豊（慶応義塾大学）

14:00～14:50 環境への拒否反応：「酔い」発症時の生体反応について

○中川 千鶴（鉄道総合技術研究所）

第三部

15:00～15:50 人間機能計測—形状・運動・感覚・感性をはかる

○持丸 正明（産総研 デジタルヒューマン研究センター）

15:50～16:40 視線計測技術とその効果 ○大野 健彦（日本電信電話）

16:40～17:30 ころを測る ○武者 利光（脳機能研究所、ゆらぎ研究所）

※講演タイトルは仮題です。プログラムは変更される可能性があります

日本バーチャルリアリティ学会 サイバースペースと仮想都市研究会 第8回シンポジウム

「人をはかる」

日時： 2005年11月25日（金） 10:00～17:30

会場： 筑波大学東京キャンパス（東京都文京区大塚）

主催： 日本バーチャルリアリティ学会サイバースペースと仮想都市研究委員会

シンポジウム実行委員長： 岡田 謙一（慶應義塾大学教授）

実行委員： 小林 稔（NTT）、塩澤 秀和（玉川大学）、渡辺 喜道（山梨大学）

●参加費

- 1: VR学会正会員 12,000円
- 2: 仮想都市研究会登録会員 12,000円
- 3: 学生 5,000円
- 4: 非会員 14,000円

※参加費は当日現金にてお支払い下さい。

●会場の御案内

筑波大学東京キャンパス
（東京都文京区大塚）
地下鉄丸の内線、茗荷谷駅の近くです。
○WEBページ
<http://www.tsukuba.ac.jp/index.html>

●参加申し込み

本シンポジウムは例年多数の方に御参加いただいております。
本年も多数の参加が予想されますので、事前登録をお願いしております。

○申し込みページよりお申し込みください。

<http://welcome.to/sigcs/>

●問合せ先：小林 稔（NTTサイバーソリューション研究所）

TEL：046-859-2986 FAX：046-59-5560 MAIL：minoru@acm.org